

研究主題 中学校学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導の改善

I 団体の概要

- 都内公立中学校の数学科教員をもって構成する数学教育研究会。
- 中学校数学教育の向上を図ることを目的とし、会長のもと会員相互の自主と協調のもとに、以下の5部会・8委員会を組織し、数学教育全般にわたる研究活動を実施。（本年度、指導法委員会は活動休止）

5部会 庶務部・研究部・調査部・広報部・会計部

8委員会 研究部内に、数式委員会・教育課程委員会・指導法委員会
図形委員会・確率統計委員会・評価委員会・導入法委員会・関数委員会

II 主な年間活動

●運営に関する会（総会）・講演会の開催

令和7年5月10日(土)
於 練馬区立開進第二中学校 セミナーハウス（松山館）

- ・指導改善に向けた大学教授等による講演会
演題 「全国学力学習状況調査の効果的な活用」
講師 共栄大学教育学部 教授 島内 啓介 先生

●数学指導技術向上研修会

昨年度まで8月に開催していた、本研究会と東京都教職員研修センターとの連携研修は、関東甲信静数学教育研究静岡（富士）大会が同時期に開催されることと研修内容が変更になったため中止となった。そのため形式を変え、2月の研究発表大会時に実施する予定である。

●研究部委員長研修会の開催

第1回 令和7年6月19日（木） 於 新宿区立西早稲田中学校
第2回 令和7年10月17日（金） 於 新宿区立西早稲田中学校

●研究大会への参加

- ・第107回全国算数・数学教育研究（石川）大会
令和7年8月8日(金) 【教育課程委員会・関数委員会】
- ・第80回関東甲信静数学教育研究静岡（富士）大会
令和7年8月20日(水)
【確率統計委員会・導入法委員会・図形委員会】

●第63回研究発表大会の開催（予定）

- 令和8年2月14日(土)13:20～ 於 新宿区立西早稲田中学校
- ・指導改善に向けた大学教授等による講演会
演題 「『データの活用』領域の教材開発と授業づくり」
講師 都留文科大学教育学部 教授 新井 仁 先生
 - ・領域等における指導改善の実践と研究成果の発表

【調査部及び、研究部7委員会】

《各委員会及び、調査部の発表テーマ》

教育課程	「主体的・対話的で深い学びを追求した授業づくり」
確率統計	「じゃんけんを題材としたデータ活用領域の授業提案」
導入法	「負の数が導入されたことで、グラフはどう変わるか」 についての指導法の提案
図形	「生徒が主体的に取り組む図形の論証指導」
関数	「1次関数の値の変化の割合の指導」 ～中高一貫とした指導の研究～
評価	「学習指導要領における評価の在り方について（8）」 ～ルーブリックを用いたインタビュー形式での評価の試行(3)～
数式	「主体性を育てる指導の工夫」
調査部	「数学教育推進にかかわる実態調査」の結果の分析と報告

●その他の活動

- ・講演会、研究部活動、地区活動の報告をまとめた会報誌および、研究発表集録の発行 【広報部】
- ・都内公立全中学校対象「数学教育推進にかかわる実態調査」の実施および、結果の分析と報告 【調査部】

Ⅲ 第62回研究発表大会について（報告）

【教育課程委員会】

1年次の反比例のグラフの指導について、2つの指導案を作成し授業実践を行った。いずれも紙面とデジタルを併用させたことで、生徒の自由な発想を引き出し、主体的な学習と生徒自らが問題を見出したことによる自然な対話につながった。

【確率統計委員会】

統計的探求プロセスの1つであるPPDCAサイクルを活用するための授業実践を行った。身近な題材を扱ったことで、生徒自らが課題解決のために必要なデータを収集・分析し、新たな課題を発見しながら知識や技能、考え方の習得につながった。

【導入法委員会】

生徒が「証明の根拠となることから」と「証明することから」を分類する操作を、単元を通して繰り返し行うことで、証明のしくみを理解させることをねらいとする指導法の提案がなされた。検証授業では一人1台端末の効果的な活用についても報告された。

【図形委員会】

自ら課題を発見し、粘り強く取り組み、探究しようとする生徒の育成に向けた証明指導の実践例が報告された。フローチャートを作成しながら、生徒が問題把握のために図を描き、解決の糸口を発見する活動を取り入れることで見通しをもつことにつながった。

【関数委員会】

1次関数における変化の割合の指導と評価について、具体的な実践例を挙げながら2本発表した。関数の利用に関する指導法や研究を重ねてきた評価問題の分析を通したさまざまな提案等、今後も教材開発や追跡調査を進めていくことが報告された。

【評価委員会】

ワークシートへの記入が難しい生徒の評価方法として、ループリック（評価基準表）を用いたインタビューによる評価の試行について、図形領域での実践例が報告された。研究2年目となるためインタビューをする生徒の選定に焦点をあてたことで一定の成果が見られた。

【数式委員会】

「主体性を育てる指導の工夫」として、自ら考えを表現できる生徒の育成を目指した授業実践の報告がなされた。表現と解釈の双方を重視しながら数学的な表現の習得や表現することの意義を理解させることで、生徒の主体性を引き出すことにつながった。



<令和7年度連絡先>

団体名		東京都中学校数学教育研究会	
代表者	所属	文京区立第十中学校	
	職 氏名	校長 南 英昭	
	連絡先	03-3944-0371	
事務局	所属	清瀬市立清瀬第三中学校	
	職 氏名	校長 井上 隆	
	連絡先	042-493-6313	
団体ホームページ	URL	https://sites.google.com/view/tochusu/	二次元コード
			